

第3回日中古紙セミナー

日中の古紙関係者の交流を図るため、2014年度の海外古紙調査の一環として「第3回日中古紙セミナー」を開催しました。中国から4名の講師をお招きし、講演とその後に活発な質疑応答・意見交換を行いました。来年度は中国にて第4回中日古紙セミナーを開催する予定です。

開催日時 2014年11月19日（水） 13時00分から16時20分
開催会場 星陵会館（東京都千代田区永田町）
主催 公益財団法人古紙再生促進センター
共催 中国再生資源回收利用協会・江蘇省造紙行業協会・浙江省造紙行業協会
参加人数 272名（国内参加者 217名 来日参加者 55名）

< 内 容 >

開会挨拶	(公財)古紙再生促進センター	代表理事	岩瀬広徳
来賓挨拶	経済産業省紙業服飾品課	課長補佐	川崎雅和
講演① 「日本の古紙再生と品質基準の推進」	榮成紙業股份有限公司	總經理	姚長坤
講演② 「安徽山鷹の現状と将来・購買方針について」	安徽山鷹紙業股份有限公司	總經理	舒君明
講演③ 「浙江省製紙産業の古紙利用現状及び発展趨勢」	浙江省造紙行業協会	常務副秘書長	郑梦樵
講演④ 「中国古紙分類標準及び古紙輸入最新策」	中国再生資源回收利用協会	副会長兼秘書長	潘永刚
質疑応答			
閉会挨拶	(公財)古紙再生促進センター	副理事長	栗原正雄

